

はじめます。

デメリットは1点「利便性の喪失」「利便性の喪失」

現状分析は1点「必要不可欠な派遣」「必要不可欠な派遣」

厚生労働省 2007 年の調査によると、派遣労働者は 321 万人であり現在急激に増加しています。これは今後働き方の多様化を日本が必要とするからです。2007 年に社会経済生産性本部はこう述べています、引用開始「働きかたの多様化の進展には、経営側の人事戦略だけでなく、従業員の就業ニーズが大きく変化して来たことが背景にある。したがって、企業としても、多様なニーズに応じた働き方の選択肢を充実して行くことは生産性向上の観点からも重要であることを認識する必要がある」と終わり。働き方の多様化の必要性を2点述べます。

1 点目「派遣労働者のニーズ」

派遣労働者の多くは自ら望んで派遣を選択しています。2006 年労働政策研修機構の調査より引用開始「派遣社員を選択した最大の理由として、自分の都合と折り合えるから 45%、パートタイマーより給与が良かったから 11.1%、自分の技能や経験が生かせるから 10.3%」終わり。このように派遣労働者の約7割は派遣を望んでいるのです。また実際に派遣労働者となった今でも派遣社員の満足度は高く、2005 年労働政策研究研修機構の調査によると派遣労働者のうち今の仕事に満足している人の割合は 87.8%であり、正社員 90.4%やパート 74.1%に匹敵するものです。このような労働者の中でも特に女性にとって派遣は必要です。実際に 2005 年の厚生労働省調査によると派遣労働者の 62.8%は女性であり、全労働者に占める女性の割合が約 41.4%だということからも派遣は特に女性にとって重要な選択肢だといえます。さらに正社員を希望する人にも派遣は活用されています。2004 年に日本経営診断学科関西支部はこう述べています、引用開始「2000 年 12 月には紹介予定派遣が解禁された。これは、企業の直接雇用へと結びつくことである。それゆえ、正社員を希望する派遣社員からすれば、その企業の業務が自分に向いているか否かを判断できる機会となる。他方、企業はその社員の能力や特性を見極める時間を確保できる。その結果、紹介予定派遣は雇用のミスマッチ対策としても注目されている」と終わり。よって派遣は労働者のニーズを満たすために必要なのです。

2 点目「企業のニーズ」

派遣システムは専門性があり、即戦力になるため企業にとって必要です。2007 年にキャリアカウンセラー土岐優美はこう述べています、引用開始「派遣を活用するのは、派遣システムの持つ専門性、即戦力性に魅力があるからです」と終わり。実際に厚生労働省が 2001 年に発表した調査で派遣労働者が戦力になると回答した事業所は 84.5%です。また企業は生産性向上のため人件費削減を行わなければなりません。コスト削減総合研究所取締役社長・村井哲之は 2007 年にこう述べています、引用開始「コスト削減には売上を伸ばすのと同じかそれ以上の価値があることです。毎年、確実に利益を出している企業の競争力の源は、コスト削減力にあります」と終わり。コスト削減の手段として派遣は雇用調整という役割を担っています。これは企業に必要不可欠です。2006 年に社会経済生産性本部主任経営コンサルタント加藤篤士道はこう述べています、引用開始「どんな業種でも、顧客の消費行動パターンによって、季節変動が生じてしまう。（中略）閑散期に合わせて

正社員を確保し、繁忙期には応援要員で対応することが最も生産性が高くなる」終わり。

よって派遣は企業の生産性向上のため必要不可欠な雇用形態なのです。

以上2点より派遣は労働者、企業の双方にとって都合がよく、日本の将来に必要な雇用形態なのです。

発生過程は1点、「雇用形態の減少」「雇用形態の減少」

プラン導入により派遣という働き方が消失します。その結果派遣を必要としている労働者、企業から雇用の選択肢が1つ奪われることになります。また現状でのプラン導入は働き方の多様化を今後一層必要とする動きに逆行するものです。よって労働者や企業にとって必要であるにもかかわらずプランで派遣が廃止されます。したがって雇用の選択肢が減少し、デメリット「利便性の喪失」が確実に発生します。

深刻性は1点「雇用のミスマッチ」「雇用のミスマッチ」

先ほど現状分析でも述べた通り、今後労働者と企業の双方のニーズをマッチさせていく働き方の多様化の実現が日本にとって必要不可欠です。しかしプラン導入後派遣制度が喪失することで労働者と企業のミスマッチが起こりやすくなります。その結果企業が労働者の採用に慎重になり、雇用が縮小します。2008年2月15日の日本経済新聞より引用開始「ただ非正社員に関する規制の強化や正社員化を進めれば、企業が採用そのものに慎重になり、雇用に副作用が出る可能性もある。非正社員を正社員にすれば、企業にとって柔軟な雇用調整が難しくなるとの指摘もある」終わり。また雇用のミスマッチは生産性の向上に悪影響です。広島県商工労働部長三島裕三氏は2007年にこう述べています、引用開始「中小企業の一番の悩みは人手の確保と育成。（中略）生産性を向上、量的拡大を図るには企業と人のマッチングを手厚くやらなくてはならない」終わり。よって雇用のミスマッチは企業の採用を縮小させ、生産性向上に深刻な悪影響を与えます。

以上より派遣労働者、企業、日本、そして今後派遣という働き方を望む労働者にまで深刻な被害をもたらすプランを決して導入すべきではありません。ありがとうございました。